



The 19th IWA Conference on Sludge Management

プレワークショップ「汚泥の農業利用促進に向けて」

2025 年 9 月 15 日

第 19 回 IWA 汚泥管理に関する国際会議組織委員会

近年、下水汚泥の有効利用は循環型社会の構築に向けた重要な課題となっております。我が国においては、農業分野における肥料資源の原料である尿素、りん、カリウムは、ほぼ輸入に依存しており、国内資源の利用、特に地域資源の循環利用の観点から下水汚泥の農業利用は大きな期待が寄せられております。2023 年には、国土交通省から発生汚泥等の処理に関する基本的考え方について、下水道管理者は今後、発生汚泥等の処理を行うに当たっては、肥料としての利用を最優先し、最大限の利用を行うこととすることが示されています。このたび、第 19 回 IWA 汚泥管理に関する国際会議を行うにあたり、海外の研究者から各国での下水汚泥の肥料利用に係る様々な動向を紹介いただくとともに、国内の下水汚泥の農業利用促進に向けた最新の動向を下水道側及び農業側から紹介いただき、法制度、実践事例について幅広く情報共有を図るため、下記のとおりプレワークショップを開催する運びとなりました。現場の実務者から研究者、自治体関係者まで、多様な立場から議論を深める貴重な機会と存じます。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

主催 第 19 回 IWA 汚泥管理に関する国際会議組織委員会
日時 2025 年 10 月 21 日(火)13:30~16:40(現地での受付は 13:00 より開始)
会場 KRP 京都リサーチパーク 4 号館バズホール(B1F)(京都府京都市下京区中堂寺南町134)
ハイブリッド形式
定員 会場 300 名 WEB(Zoom Webinars)500 名(事前申込み制)
言語 英語、日本語への同時通訳あり(英語→日本語)
参加費 無料
参加申込 オンラインでの参加については、下記の Zoom アドレスからお申込みください。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_TtnlzvpzSWqDPPXNRBSqjA
現地参加のご希望は、席の数が限られておりますので、お問い合わせください。
問合せ先: iwa-19th-sludgemanagement@epsehost.env.kyoto-u.ac.jp

【プログラム】(敬称略)

13:30~13:35	開会の挨拶	座長: 藤本 裕之 氏 (公益財団法人日本下水道新技術機構、日本)
13:35~13:55	Towards maximising agricultural use of sewage sludge in Japan	吉田 敏章 氏 (国土交通省、日本)
13:55~14:15	Land Application of Sewage Sludge in China-history, Challenge and Policy	Guoren Xu 教授 (中国科学院、中国)
14:15~14:35	Contaminants of Emerging Concern in Sludge with Special Emphasis on Land Application	Dilek Sanin 教授 (中東工科大学、トルコ)
14:35~15:00	コーヒープレイク	
15:00~15:20	Agricultural Use of Sludge -European Experience-	Pavel Jenicek 教授 (プラハ化学技術大学、チェコ)
15:20~15:40	Biosolids Utilization in Agriculture - Decades of Successful Practice in the USA	K. Richard Tsang 博士 (CDM Smith, アメリカ)
15:40~16:00	The use of sewage sludge fertilizer in Japan and farmers' awareness	瀬戸 二郎 氏 (農林中央金庫、日本)
16:00~16:40	パネルディスカッション	
16:40~16:45	閉会の挨拶	座長: 藤本 裕之 氏 (公益財団法人日本下水道新技術機構、日本)